



# Nexus ダッシュボードのアップグレード

- [前提条件とガイドライン \(1 ページ\)](#)
- [Nexus ダッシュボードのアップグレード \(2 ページ\)](#)

## 前提条件とガイドライン

既存の Nexus Dashboard クラスタをアップグレードする前に、次の手順を実行します。

- アップグレードに影響する可能性のある動作、ガイドライン、および問題の変更については、ターゲットリリースの [リリース ノート](#) を必ずお読みください。
- Cisco Nexus ダッシュボード、リリース 2.0.1 以降を実行している必要があります。

Cisco Application Services Engine を実行している場合は、代わりに [Application Services Engine からのアップグレード](#) で説明されている手順に従います。

- アップグレードプロセスは、すべての Nexus ダッシュボード フォーム ファクタで同じです。

物理サーバー、VMware ESX OVA、または Azure または AWS クラウドを使用してクラスタを展開したかどうかに関係なく、ターゲットリリースの ISO イメージを使用してアップグレードします。

- 現在の Nexus ダッシュボードクラスタが正常であることを確認します。

Nexus ダッシュボード GUI の [\[システム概要 \(System Overview\)\]](#) ページでシステムのステータスを確認するか、rescue-user としてノードの1つにログインし、acs health コマンドを実行します。

- アップグレードの前にクラスタにインストールされているアプリケーションを無効にし、アップグレードが正常に完了した後に再度有効にする必要があります。

アプリケーションを再度有効にする前に、『[Cisco Nexus Dashboard User Guide](#)』の「App Infra Services」セクションの説明に従って、App Infra Services 展開プロファイルを設定する必要があります。

- リリース 2.0.2 にアップグレードした後は、すべてのアプリケーションを最新バージョンにアップグレードすることをお勧めします。

- リリース 2.0.2 からのダウングレードはサポートされていません。

## Nexus ダッシュボードのアップグレード

ここでは、既存の Nexus ダッシュボード クラスタをアップグレードする方法について説明します。

### 始める前に

- で説明している前提条件をすべて満たしていることを確認します。 [前提条件とガイドライン \(1 ページ\)](#)

**ステップ 1** Nexus Dashboard イメージをダウンロードします。

- [Software Download] ページを参照します。

<https://software.cisco.com/download/home/286327743/type/286328258>

- 左側のサイドバーから、ダウンロードする Nexus ダッシュボードのバージョンを選択します。
- Cisco Nexus ダッシュボード イメージ ( `nd-dk9.<version>.iso` )。

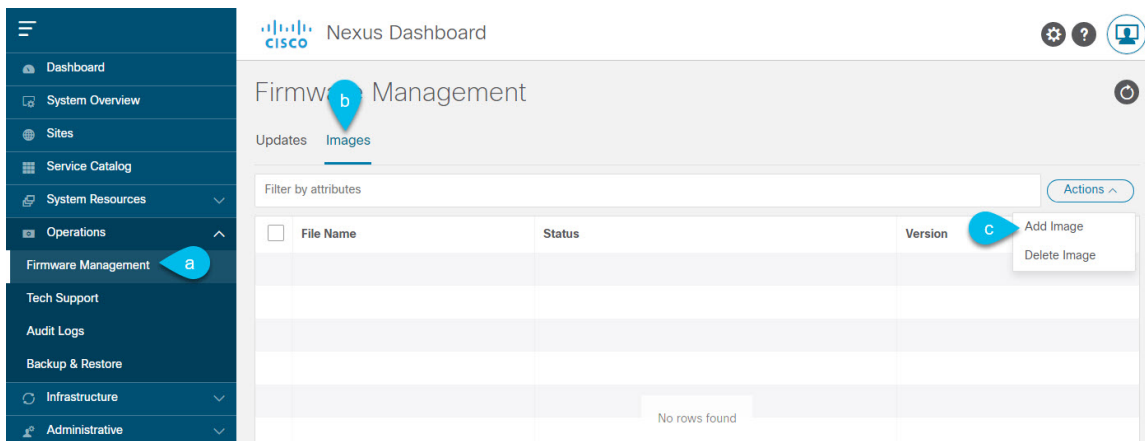
(注) 最初のクラスタ展開に VMware ESX .ova イメージまたはクラウドプロバイダーのマーケットプレイスを使用した場合でも、すべてのアップグレードで .iso イメージをダウンロードする必要があります。

- (任意) 環境内の Web サーバーでイメージをホストします。

イメージを Nexus Dashboard クラスタにアップロードする際に、イメージに直接 URL を指定するオプションがあります。

**ステップ 2** 現在の Nexus ダッシュボード GUI に管理者ユーザーとしてログインします。

**ステップ 3** 新しいイメージをクラスタにアップロードします。



- [Operations (オペレーション)] > [ファームウェア管理 (Firmware Management)] に移動します。

- b) [イメージ] タブを選択します。
- c) [アクション (Actions)] メニューから、[イメージの追加 (Add Image)] をクリックします。

#### ステップ 4 新しいイメージを選択します。

- a) [ファームウェア イメージの追加 (Add Firmware Image)] ウィンドウで、[ローカル (Local)] を選択します。

または、ウェブ サーバでイメージをホストした場合は、代わりに [リモート (Remote)] を選択します。

- b) [ファイルの選択 (Select file)] をクリックし、最初の手順でダウンロードした ISO イメージを選択します。

リモートイメージのアップロードを選択した場合は、リモートサーバ上のイメージのファイルパスを指定します。

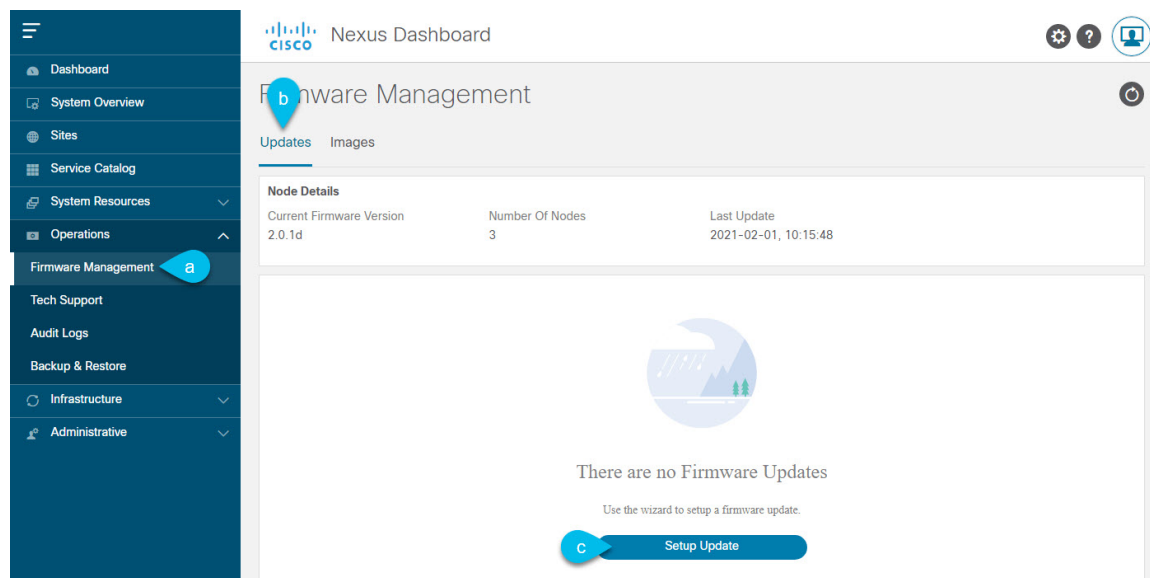
- c) [アップロード (Upload)] をクリックして、イメージを追加します。

イメージが Nexus ダッシュボード クラスタにアップロードされ、解凍されて処理され、アップグレードに使用できるようになります。プロセス全体に数分かかる場合があります。[イメージ (Images)] タブでプロセスのステータスを確認できます。

#### ステップ 5 イメージステータスが「ダウンロード済み」に変わるのを待ちます。

イメージでイメージのダウンロードの進行状況を確認できます。

#### ステップ 6 更新を設定します。



- a) [Operations (オペレーション)] > [ファームウェア管理 (Firmware Management)] に移動します。
- b) [更新] タブを選択します。
- c) [更新のセットアップ (Setup Update)] をクリックします。

[ファームウェアの更新 (Update Firmware)] ダイアログボックスが開きます。

**ステップ7** アップグレードイメージを選択します。

- a) [ファームウェアの更新 (Firmware Update)] > [バージョン選択 (Version selection)] 画面で、アップロードしたファームウェアバージョンを選択し、[次へ (Next)] をクリックします。
- b) [ファームウェアの更新 (Firmware Update)] > [確認 (Confirmation)] 画面で、詳細を確認し、[インストールの開始 (Begin Install)] をクリックします。

インストールの進行状況ウィンドウが表示されます。更新中は、この画面から移動できます。後で更新ステータスを確認するには、[ファームウェア管理 (Firmware Management)] 画面に移動し、[最終更新ステータス (Last Update Status)] タイルで [詳細の表示 (View Details)] をクリックします。

これにより、必要な Kubernetes イメージとサービスが設定されますが、クラスタは新しいバージョンに切り替わりません。次の手順で新しいイメージをアクティブ化するまで、クラスタは既存のバージョンを実行し続けます。このプロセスは、全体で最大 20 分かかる場合があります。

**ステップ8** 新しい画像をアクティブにします。

- a) [オペレーション (Operations)] > [ファームウェア管理 (Firmware Management)] 画面に戻ります。
- b) [最終更新ステータス (Last Update Status)] タイルで、[詳細の表示 (View Details)] をクリックします。
- c) [Activate] をクリックします。
- d) [アクティブ化確認] ウィンドウで、[続行] をクリックします。

すべてのクラスタサービスが起動し、GUI が使用可能になるまでに、さらに最大 20 分かかる場合があります。このページは、プロセスが完了すると、自動的に再ロードされます。

**ステップ9** 同じクラスタで複数のアプリケーションをホストしている場合は、App Infra Services の展開プロファイルを設定します。

Nexus ダッシュボードクラスタで単一のアプリケーションのみをホストしている場合は、この手順をスキップします。

同じクラスタに複数のアプリケーションをホストする場合は、アプリケーションとファブリックサイズの組み合わせに適した展開プロファイルを使用して、App Infra Services を設定する必要があります。

クラスタのアップグレードが完了したら、[『Cisco Nexus Dashboard User Guide』](#) の「App Infra Services」セクションに記載されている手順に従ってください。このガイドは、製品の GUI から入手できます。